

ワックスがけ

リバースワックスでワックスがけを行います。1ℓで約100m²塗布可能（1回塗りの場合）。塗布後60分で歩行可能（室温25℃の場合／気温や湿度によって乾燥時間は前後します）。

施工手順

(1) リフレパウダー希釈水で床面をきれいに掃除してから、ワックスモップで塗布します。

(2) 1回塗りで効果を発揮、重ね塗りでツヤが出ます。

1回塗りではあまりツヤが出ませんので、ツヤを出したい場合は2～3回重ね塗りをしてください。複数回塗ることでワックスの表面強度が増し、1回塗りの場合よりも長持ちします。



(3) 複合フローリングは側面にも塗布するとより効果的です。

表面に加えて側面からも有害化学物質が発散しますので、側面にも塗布することでより有害化学物質を低減することができます。化学物質に敏感なお客様の場合は施工推奨。



(4) 無垢フローリングの場合

塗布回数を工夫することで無垢フローリングの風合いも活かすことができます。

1回塗り 風合いを残したい場合はP.8の噴霧液を噴霧*した後に1回塗布。無垢の風合いや香りを活かしつつ、αピネンやリモネンなどの低減効果を得られます。

2回塗り 無垢の風合いも活かしつつ汚れも防ぎたい場合は2回塗布。ヒノキなど香りの強い木材は刺激臭が減ってやわらかな香りになります。

3回塗り ツヤを出したい場合は3回塗布。表面強度が増すため汚れ防止にもなります。木材の色は濃く感じられ、香りはやわらかく感じられる程度です。

※無垢材を選ぶお客様は、その風合いを楽しみたいという方がほとんどです。リバースワックスは樹脂ワックスですので、塗り重ねることで無垢材の表面（風合い）が変化します。変化をなるべく少なくして化学物質を低減させるため、リバースワックス塗布前に噴霧をします。



リバースワックス塗布有無の比較

(5) 海外からの輸入木材の場合

海外からの輸入木材は防虫のために薬剤処理を行っている場合があります。P.8の噴霧液を噴霧して有害化学物質を低減してからリバースワックスを塗布することを推奨します。

注意事項

- 複数回塗る場合は、先に塗ったワックスが完全に乾いてから重ね塗りしてください。
- **ワックス不要タイプのフローリングにはワックスが密着せず剥離しますので適しません。**ワックスがけが可能なフローリングをご使用ください。
- **夏季など気温の高いときは通常より早く乾燥する（塗布後30分前後）ので注意が必要です。**乾燥時間が短くなりますので、途中で作業を中断せず一気に施工してください。施工途中で中断するとその部分のムラが目立ってしまいます。やむを得ず中断する場合は、区切りのよいところで中断するか、フローリングの目地に沿ってテーピングし、そこで中断してください。
- **必ず端材などで試し塗りをして仕上がりを確認してください。**無垢材に塗布する場合などは、無垢材の種類によって塗布後の仕上がりに違いが生じる場合がありますので、必ず事前に仕上がりをお確かめください。
- TVOCの観点から見た場合には無垢材にも施工が必要です。ホルムアルデヒド等の濃度が厚生労働省の濃度指針値をクリアしていても、αピネン・リモネンの2物質だけでTVOC暫定目標値と同等レベル、あるいはそれを超えた数値が検出される場合がございます。
- リバースワックスを塗ったフローリングの掃除には、化学雑巾は使用しないでください。化学雑巾に含まれる成分によって滑りやすくなるおそれがあります。また、高温になるスチームクリーナー等も使用しないでください。
- 剥がれや摩耗を感じられましたら、塗り直しを行ってください。

リバースワックスは表面仕上げ用ワックスとしてF☆☆☆☆を取得しております。床材のほか、腰壁や家具などにもご使用いただけます。